学校番号	3032B

令和８年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学)実用の書 A	単位数	1	年次	2・3 年次前期
使用教科書							
副教材等	最新ペン字実務（日本書写教育研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活のさまざまな場面で，文字を「美しく書く」「楽しんで書く」ための知識・技法を身につけます。

毛筆では，漢字（楷書）の学習を通して，基本の用筆法や字形の整え方などを学びます。文化祭に向けて作品制作も行います。硬筆では，いろいろな書式について学びます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の 文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書の表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書（楷書）	・楷書点画の種類と用筆法 字形の整え方 ①点画の組み立て方 ②部分と部分の組み立て方 ③全体の整え方 筆順の決まりと点画のつながり 楷書で名句を書く 横書き 日常の書(表書きなど)	a: 文字と書の伝統文化，字形，構成等の要素と表現効果について理解を深めている。(知識) a:楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、目的や用途に即した表現の技能を身につけ表している。(技能) b: 基礎・基本的な楷書のよさや美しさを感じ取っている。 b:楷書の基本的な点画と用筆・運筆について，その技法を学び普遍性のある表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート ワークシート 授業観察
	篆刻	・篆刻と落款について ・名前の一文字印の制作 (篆書・消しゴム印)	a:篆刻の伝統と文化について幅広く理解している。(知識) a:目的や用途に即した効果的な表現の技能，書体・書風，配字等による全体の構成の技術を身につけている。(技能) b: 篆刻の美やよさを感じとり，表現を工夫している。 C:主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート ワークシート 授業観察

	漢字仮名交じりの書	・楷書に調和する仮名(いろは歌等) ・行の整え方(配列)や文字の大きさ,全体の調和 ・楷書に仮名を交えて書く(俳句等)	a:漢字と仮名の字形や文字の大きさ，配列等が全体の構成に関わることを理解している。(知識) a:用具，用材の特徴を生かした効果的な表現や線質，字形，全体の構成等の技能を身につけ，表している。(技能) b:紙面構成による表現の違いを理解し，書のよさや美しさを感じとっている。 b:自己の表現のねらいを達成するために表現意欲を高め，用具，用材，線質，字形，全体の構成等について工夫している。 c:漢字仮名交じりの書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート ワークシート 授業観察